

令和9年度予算への要望書

団体名	一般社団法人 川崎市商店街連合会	
役所の担当部局名	経済労働局観光・地域活力推進部 総務企画局行政改革マネジメント推進室	
件名	商店街の在り方を見据えた行政の組織づくりについて	
○印を付けてください	新規	(継続)
<p>要望内容</p> <p>現在の商業を所管する部署の組織名は、「観光・地域活力推進部」で、課の組織もない担当制ため、商業の名前は組織名には現れず、商業関係者の側から見ると行政の顔がよく見えない状況です。</p> <p>更に現在の商店街関係を所管する経済労働局の組織は、補助金事業を中心とした地域活性化担当と、振興支援策を中心とした商業・サービス業振興担当が別になっており、商業者が相談に行く際のワンストップ窓口になっていないように考えられます。</p> <p>また業務によるセクション化が進みすぎて、職員が包括的に商店街の状況を把握しにくく、真に商業者の実情を理解した施策が実施しにくい状況になっているとも考えられます。</p> <p>市役所も各種制度説明などで個別商店街の訪問を積極的に行っていると伺っておりますが、担当が数年で別の部署に異動する中、商業施策等の専門性を持った職員を育成するには、組織としての柱が必要かと思えます。</p> <p>大型店、ネット販売にシフトしているとはいえ、生活における貴重なインフラである商店街をこのまま衰退させることは、地域コミュニティの観点からも問題であると考えます。今後の商店街が進む方向性を考える中心の部署として、組織づくりを考えていただくとともに、人材育成にも力をいれていただけるよう希望いたします。</p>		